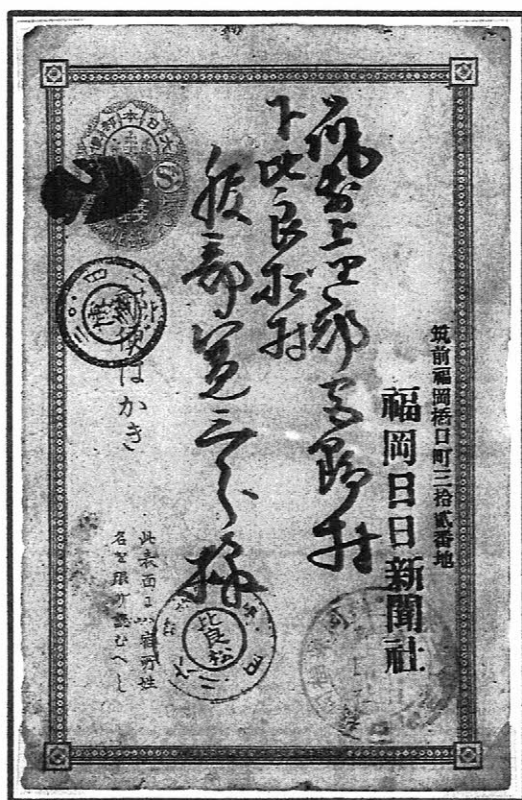


福岡日日新聞社

「福岡日日新聞社」は、日刊新聞として「福岡日日新聞」を明治13年(1880年)から福岡県を中心に九州一円で発行・販売していた。現在の「西日本新聞社」の前身である。

昭和17年(1942年)に新聞統制により「西日本新聞」となり、翌年に社名も「西日本新聞社」となった。

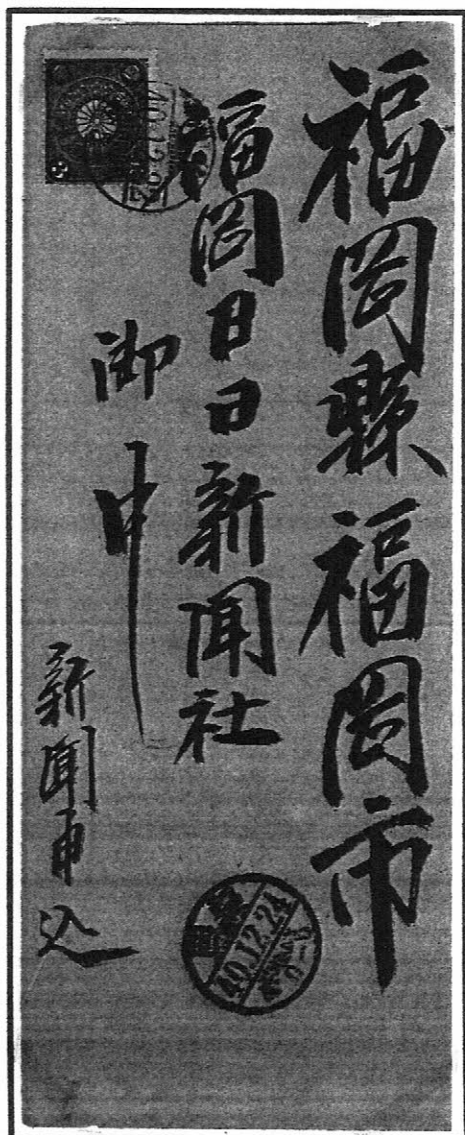
明治20年
福岡日日新聞社差出



博多 大型ボタ + N₂B₂ 明治20年4月26日イ
→比良松 KB₂ 4月26日

料金：葉書料金1銭

明治40年 韓国・仁川からの新聞申込



仁川 明治40年12月22日
→福岡 明治40年12月24日

料金：封書基本料金2銭

白封・ルイスカバーに見られる演出

カール・ルイス(米国:1865~1942)は、今回展示している肉筆カシェ付きカバーで有名ですが、カシェの無いカバー(白封)にも興味深い作品がたくさんあります。その一つがここに示した日本から米国の切手愛好家に送った白封カバーです。このカバーでは、赤色の「風景切手・6銭」を中心に置き、茶色の「田沢切手・5厘」8枚を周囲に配することで、全体で米国宛書状の適正料金10銭にしています。この切手配置と配色の妙で白封の味気無さが緩和されルイスの遊び心も感じられます。まったく同じ仕様のカバーが、他に氷川丸風景印の白封カバー等にもあるところを見ると、このパターンはルイスお気に入りのようです。

・アイオワ州宛(1932.4.2)「横浜」欧文楕型日付印「封緘」を封表！に押印

